

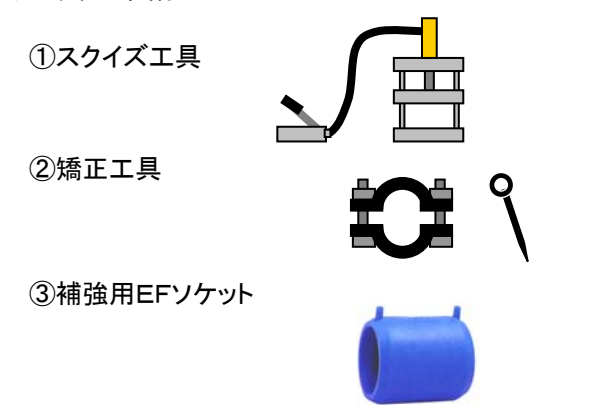
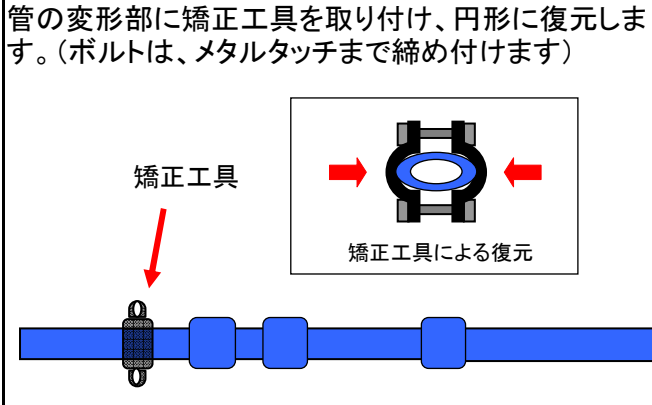
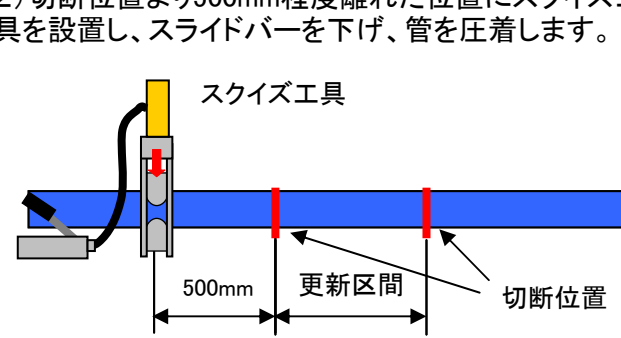
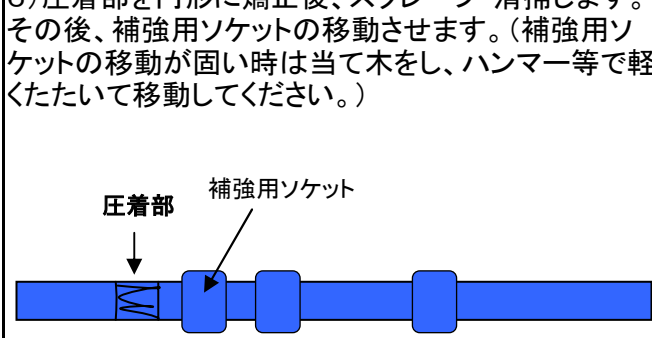
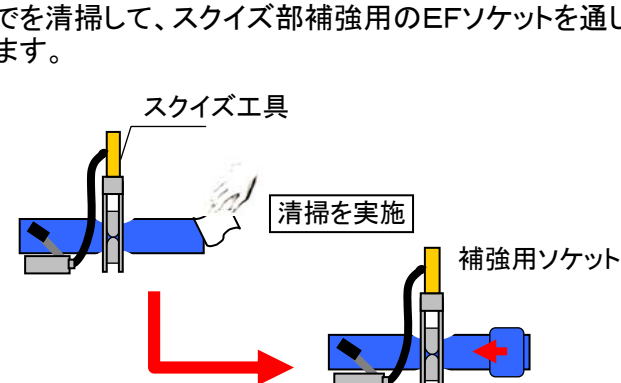
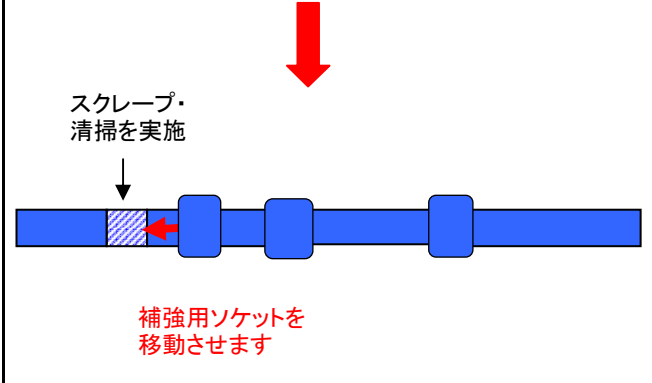
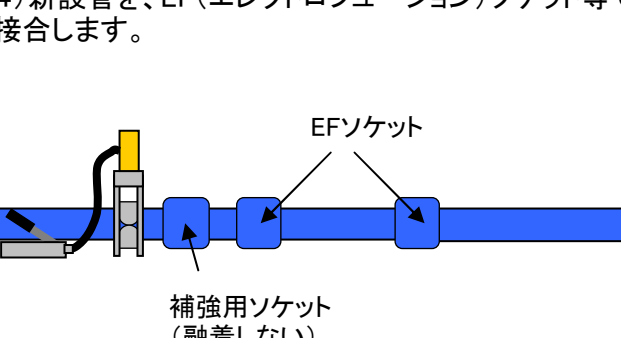
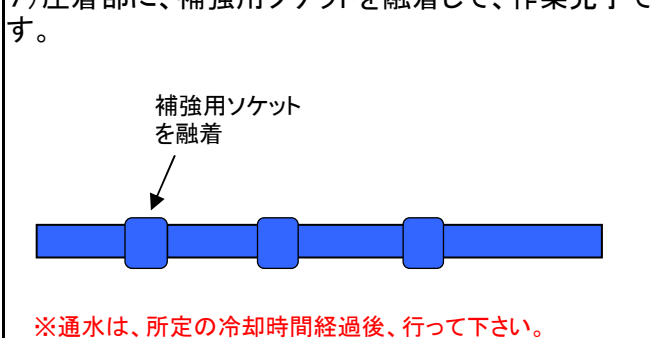
# スクイズオフ止水工法について

## 1. 用途

- 1) 仕切り弁が近くに無く、水圧 (0.75MPa以下) がかかっている場合の止水・・・メカニカル継手で接合します。
- 2) 仕切り弁が有るが、完全止水出来ない(水漏れ程度)場合の止水　　・・・EF継手接合で出来ます。

## 2. 適応管種: エスロハイパーPE・JWφ50～φ150

## 3. スクイズオフ工法の作業方法 (EF継手での接合を示しますが、スクイズオフ工法の作業方法は共通です。)

<p>1) 工具の準備</p> <p>①スクイズ工具</p> <p>②矯正工具</p> <p>③補強用EFソケット</p> 	<p>5) スクイズ工具の油圧を抜き、管から取り外した後、管の変形部に矯正工具を取り付け、円形に復元します。(ボルトは、メタルタッチまで締め付けます)</p> 
<p>2) 切断位置より500mm程度離れた位置にスクイズ工具を設置し、スライドバーを下げ、管を圧着します。</p> 	<p>6) 圧着部を円形に矯正後、スクレープ・清掃します。その後、補強用ソケットの移動させます。(補強用ソケットの移動が固い時は当て木をし、ハンマー等で軽くたたいて移動してください。)</p> 
<p>3) 破損部の切断・撤去後、管端からスクイズ工具までを清掃して、スクイズ部補強用のEFソケットを通します。</p> 	
<p>4) 新設管を、EF(エレクトロフュージョン)ソケット等で接合します。</p> 	<p>7) 圧着部に、補強用ソケットを融着して、作業完了です。</p>  <p>※通水は、所定の冷却時間経過後、行って下さい。</p>

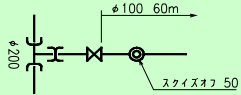
## 4. 事例紹介

### 1)新潟県(φ100)

・仕切り弁で完全に水が止まらない管路をスクイズオフで止水して、融着接合を行なった。

#### ①現場状況

更新区間は、約60m配管。



#### ②既設管との接続

EFソケットにて融着して配管延長。



#### ③扁平部補修(復元)

二つ割治具にて、スクイズオフ部分の側面(白化部分)をメタルタッチまで締め付け、復元した。(5分程度)



#### ④スクイズオフ部の融着

補強用のEFソケットを、スクイズオフ部まで移動させ、クランプで固定した後、融着を実施した。



### 2)広島県(φ150)

・既設のエスロハイパーφ150の管路をスクイズオフで断水した後、切断して管の移設を行なった。

#### ①工事現場の状況

道路工事に伴い、既設のφ150配水管を移設する。



#### ②管の切断

スクイズオフにて断水した後、管を手鋸で切断した。



#### ③管の接続

既設管との接続には、メカニカル継手を使用し、その他の部分は融着接合とした。



#### ④スクイズオフ部の融着・完了

補強用のEFソケットを、スクイズオフ部まで移動させ、クランプで固定した後、融着を実施した。

